

令和4年度



東明小だより

第9号

令和4年11月25日(金)

互いを認め合う 自分のよさを知る ～思いやりキャンペーン～

校長 奥村 哲也

11月ある日の給食時間の放送です。

「田島ジョニーさんへ。ドッジボールの時、大きな声で“ナイス”と応援する声をかけていたね。“ナイス”と言われてうれしくなったよ。加藤れんじより。」
「小木曾ゆうきさんへ。給食を食べた後、牛乳パックを入れやすいようにしてくれたね。うれしかったです。金子つぐみより。」

現在、「思いやりキャンペーン」を行っています。キャンペーンでは、まず、各学級で相手を思いやる言葉や行動について話し合います。そして、そうした思いやりのある仲間の姿を見付けてカードに書き、専用の箱（ポスト）に入れます。すると、その中から選ばれたカードがお昼の放送で紹介されるのです。更に、そのカードを台紙に貼って大きな花束を作っていきます。「ふわふわ言葉やあったか行動で、笑顔いっぱいの学校にしよう」と、児童会が中心となって企画してくれました。



児童玄関に掲示されている思いやりカードの花束



図書館祭りに因み、全校放送で、くすのきしげのりさんの絵本『ええところ』を紹介しました。主人公の「あいちゃん」は、走るのが遅くて、100点なんて1回もとったことがありません。「わたしって、ええところ、ひとつもないなあ」とつぶやきます。すると友達の「ともちゃん」が、あいちゃんのいいところを見つけてくれました。ところが、そのいいところがなくなってしまいます。涙を流すあいちゃん。友達のともちゃんは、一生懸命に考えて、あいちゃんのもっといいところを見つけてくれました。最後にはあいちゃんも、「わたしも ほかのこのええところをみつけんねん。」と言いながら元気よく走り出します。「思いやりと自己肯定感を育てる、心が元気になる物語」です。子どもたちに是非読んでほしいと思って紹介しました。

「自分にはいいところがあるんだ」という思いから、元気が生まれます。「〇〇さんにはこんないいところがあるんだ」と仲間のよさを認める姿から、やさしさが生まれます。互いに互いを認め合う心を大切にしたいと思います。

12月の「世界人権デー」「人権週間」に合わせ、学校では今後も、「ひびきあい集会」や、思いやりを主題とした道徳授業を行っていく予定です。

ご家庭でも、お子さんの良さをいっぱい見付けて、いっぱい伝えてあげてください。